

山 ゆ り

5-6月号 No361 2015年5月1日

初号発行:1972年12月25日

山ゆりの会(尾瀬の自然を守る山ゆりの会)

年会費1000円(郵便口座00230-2-42601)

〒246-0025 横浜市瀬谷区阿久和西2-25-16 草野正昭

Tel/Fax:045-364-6515 メール:VZM03024@nifty.com

URL : <http://homepage3.nifty.com/yamayuli/>



2月：多摩丘陵ウォーキング

参加者：香取 遠藤 大野 西村 和田
加藤 稲本 大内 浜田 河又 曾根
田村 松田 黒羽 細谷 草野(16名)

●今日は、小田急多摩線はるひ野駅から柿生駅まで、約6KMの里山歩きです。風も無く、暖くなるとの予報に一安心。宅地開発が急速に進んでいるこの地域では、何度も経験しているのですが、今回も地図と磁石を頼りに歩いてみると、有る筈の路が無くなっていたり、行き止まりで戻って又、路を探す等と、油断が出

来ません。こんな事が何度も続くと、皮肉なことに、地図を片手に路を探すのも、里山歩きの一つの楽しみになってきました。

新興住宅街を通り抜けると、景色はモダンな都会から昔ながらの農村へと一変。舗装道路から落葉を踏む山道へ。すっかり葉を落としたコナラ、はち切れそうに膨らんだ蕾の桜や、タブ、シラカシ等の樹林を通過。しばらく迷った末に、やっと見つけた小路は、畑、田、林、畦道、柔らかな空気にも囲まれて、ホッとする田舎の山里風景だ。数分の距離の間に共存する、現在と古。町並と里山という二つの風景。不思議な感じ。

途中の地元野菜直売所で、春らしい芽キャベツとカリフラワー(ロマネスコ)が買えたというおまけまで。

コースの終り近く、修廣寺という曹洞宗の古刹を参拝すると、住職の奥様(?)が全員16名を本堂に招き入れ、秘蔵の釈迦涅槃の掛け軸を見せて下さり、詳しい説明までして頂けた。奇しくも今日は、お釈迦様の入滅された日ということでした。そうだよ！今日2月15日は、昭和20年に戦死した父の70回目の命日なんだ！早速明日にでも、墓参りに行って来なくては！(松田雄二)



●はるひ野駅、数年前の山行でこの駅から帰路についた時と違い、駅前広場がすっかり整備され様変わり、リーダーも今日の出発点の「よこやまの道」へ入るルートも、以前の風景と違い宅地開発された道なので定かではないと…?!でも心配ご無用。地図の読める方々が山ゆりにはいるので、住宅地の中の道を少し回り道をしながらも「よこやまの道」へ。

少しの距離を歩いただけでよこやまの道と分かれ農道へ。なぜか?収穫されずに葉が傷み無残な姿の白菜畑の脇をしばらく歩くと、人と車で賑わうJA川崎産直売店「セレサモス」到着。トイレ休憩程の少しの時間でしたが、店内を物色。私は「ふきのとう」と「なば菜」を買いました。帰宅後ふきのとうは天ぷら、なば菜はサラダで食べ少し早い春を感じた夕食になりました。

隣接する汁守神社の石段へ。社は歴史のありそうな、裏手には「ヤブツバキ」と「もみじ」の大きな木のある小さいながらも良い神社でした。車の往来の激しい鶴川街道を避け、脇道を入り私有地らしきみかん畑の中を通り抜け次のポイントへ。山ゆりならではの裏わざ歩き!?

町田市の真光寺公園で昼食。いつも感じるのですが、みんなでワイワイ外で食べるご飯は美味しい。

桐光学園脇の県境の尾根道へ。ここはとても眺めの良い所、遠方に大山、丹沢の山々が見渡せます。道の右側崖下は東京町田市、新興住宅街が眼下に広がっています。道左側は川崎市の栗木山王山特別緑地。雑木林が残っています。この風景の違いは…川崎市在住の私にとってはいつまでもこういう土地を残して欲しい。

本日最終ポイント「修廣寺」という禅寺です。お寺

の方の計らいで、今日はお釈迦様の命日、涅槃ということで本堂へ入り涅槃図を見せていただき、解説等お話を聞き、今日1日の良い締めくくりとなりました。「たかがウォーキング・されどウォーキング」行って見なければわからない。充実した1日でした。(稲本なお子)

3月15日

鎌倉・名越切通ウォーキング

参加者：大野 西村 豊留 和田 稲本 大内 河又 曾根 松田 田村 細谷 長谷川 小野寺 小島 草野 (15名)

●春の天気は変わりやすいが幸いにも雨にならずに済んだ。15名の参加で鎌倉七切り通しの一つ名越切通を目指す。

この季節は花も見頃で椿やモクレンなど目を見張るほどの物が沢山あった。

住宅街を抜けて祇園山ハイキングコースへ、その入口にある腹切やぐらに立ち寄る。祇園山ハイキングコースはちょっとしたアップダウンの尾根歩きで気持ちの良いコース。祇園山を降り、町中を歩き、横須賀線の線路を渡りいよいよ名越切通へ、線路際を登っていくといつの間にか名越えの古道を歩いている。この切り通しに沿ってまんだら堂やぐら群があり、ちょうどその公開日にあたっていて



中にはいることができた。案内の人が3人も居て話もきけた。流石に国の指定史跡のことだけあって、規模も大きく見事でした。鎌倉時代の石切り場の跡という「大切岸」の大岸壁を経て衣張山でお昼。午後の釈迦堂切通もすごいところで、なんとも盛りだくさんの中身の濃い1日でした。（和田悦子）

■手塚 博さんのこと

手塚さんが2014年1月に亡くなってから1年余が過ぎてしまった。会に大変寄与した方であったにもかかわらずこれまで何も触れずにきてしまった。

山ゆりの会は、1971年11月27日、「尾瀬の自然を守る会・神奈川県支部」として発足した。手塚さんは、11月の発足以来会の重鎮として活躍された。

1971年という年は日本の自然保護運動にとって象徴的な年であった。このころの尾瀬は全体の6割ほどの人が大清水から入り、大清水は尾瀬の表玄関であった。数年前から始まっていた大清水からの車道工事は、この年（1971）とうとう岩清水を破壊し、三瓶峠に迫ろうとしていた。尾瀬沼の長蔵小屋の三代目平野長靖さんたちの働きもあり、その夏に発足した環境庁の大石長官に工事を中止させた。手塚さんとはこの年（1971）の9月の尾瀬の現地集会で初めて顔を合わせた。燧小屋での夜の集会では遅くまで語り合った。私は20代後半、手塚さんは30代前半と共に若かった。

その秋、尾瀬の自然を守る会・神奈川県支部の設立総会に、手塚さんは東京から設立に参加した。この会は、尾瀬を象徴としてすそ野の広い自然保護運動を目指していくが、手塚さんは横浜での夜の会議には毎回のごとく出席した。会設立後

毎年のごとく行われた尾瀬の現地集会、時に大型バス2台、3台と盛大に行われたが、常にその中心で、いきいきと動かれていた手塚さんの姿が今でも目に浮かぶ。手塚さんの縁でこの会に入会し、活躍した人も多い。その縁で伴侶を見つけた人もまた多い。まさに会発展の大功労者であった。

全国自然保護連合（今はない）主催の全国集会との縁も深い。遠く九州の諫早集会などには会代表として一人で参加した。奈良の高野山で行われた全国集会では、全国組織の変質に体を張って抗議したこともあった。

2012年12月、手塚さんから12月31日をもって「尾瀬の自然を守る山ゆりの会を退会する」との退会届が届いた。それは本人の印を押した実にきちっとしたものであった。目を患い、売店経営と会の活動の両方を行うことが不可能になったということであった。

手塚さんほどこの会の存在を誇りとしていた人はいないと思う。その彼が、もうこの会に戻って活動できないことを悟ったとき、その誇りを汚すことなく退会することが手塚さんにとってのけじめであったのだろう。彼の意に反したかもしれないが、会員として会報を送り続けた。

2014年1月例会の最中、会員の内藤さんから手塚さんの訃報の電話が入った。尾瀬での出会いから43年余の付き合いがありながら、病気の進行具合も知らず、見舞いも、見送ることもできなかった。

（草野正昭）

以下は生前手塚さんと親しく手塚さんの最期を看取った会員の内藤敏夫さんが綴った手塚さんの闘病記です。

●手塚さんの闘病記

2012年11月、手塚さん行きつけの「要寿司」で手塚さんと会う。その場で

手塚さんから「食道癌」だと打ち明けられる。14日、阿佐ヶ谷眼科で左目の白内障を手術する。15日、手塚さんの姉が上京、阿佐ヶ谷駅で出迎え合流。16日、阿佐ヶ谷の河北総合病院で内視鏡検査を行う。喉頭癌も見つかる。

12月、河北総合病院では喉頭癌の対応ができないので東京医大へ転院し、放射線及び点滴による抗癌剤治療を開始する。

2013年2月7日：病院の事情か、来週退院予定とのこと、声がかすれて聞きづらい。3月、高円寺の清川病院に1か月の予定で入院する。4月、清川病院を

退院し、再び東京医大で諸検査行う。以前あった胸の影は今回は見つからなかったが新たにヘルペスに罹る。急きょ東京医大に入院する。歯の治療が原因か？

5月末、阿佐ヶ谷眼科で右目の白内障を手術する。以後入退院を繰り返す。8月、口内炎及びヘルペスがひどくなる。

10月、再び東京医大に入院する。脳のCTスキャン実施。喉頭癌も食道癌も悪化、さらに脳にも転移。12月、西荻窪の越川病院に転院する。

2014年1月12日早朝、越川病院にて死去 75歳。

(2015.2月内藤敏夫記)

■ 5月山行 5月10日(日曜日) 籠坂峠-三国山-山中湖

★十★

ブナの大木と幻のヤマシャクヤクに出会えるかもしれません。

・集合：朝9時30分 御殿場線 御殿場駅：

御殿場線時刻：国府津発 8:32-新松田発 8:48-御殿場 9:24 着

・持ち物；昼食、雨具など

■ 6月山行 6月14日(日曜日) 鎌倉・大仏切通ウォーキング

Ⓜ

鎌倉七つの切通の一つで昔の面影の濃い大仏切通から北鎌倉へのウォーキングです。

・集合：朝9時30分 江ノ電 長谷駅

・持ち物：昼食、雨具など

■ 例会の予定

・5月19日(火)：5月例会

・6月16日(火)：6月例会

あとがき ・安倍暴走が止まらずエスカレートするばかり、とうとう戦争立法へ。アメリカ軍がいるところ世界中どこへでも自衛隊を派遣するという周辺事態法の際限のない拡大、こんなことがどうして許されるのか。もうすぐ5月3日憲法記念日。 ・辺野古に米軍新基地を造らせないオール沖縄の意志に敬意。「肅々と」進める安倍政権の姿勢に怒りあるのみ。 ・高尾山の自然を守る市民の会が活動に幕。1984年突然の圏央道建設計画の発表、天狗集会に、当会は毎年参加、2000年裁判闘争開始、これにも原告団に加

わり微力ながら活動に参加し続けてきた。今トンネルは掘られ、道路は開通してしまったが、この運動の与えた影響は大きいし、山ゆりの会も多くを学んだ。特に原告団長の吉山寛先生には山ゆりの山行にも何度も参加していただきその都度多くを学んだ。これからもご一緒したいもの。 ・高浜原発再稼働に待った、4/14 福井地裁が住民の訴えを全面支持、差し止め決定判決。関電の杜撰な安全対策を断罪、再稼働を認めた原子力規制委員会の新規性基準も緩やか過ぎで、合理性に欠くと断じた。喝采

・新緑や還暦古稀の山ガール 【K】